

Emerging Scholars Workshop 2014

Call for Applications

Organized by
日本経営分析学会関東研究部会

Purpose

関東研究部会では、研究会を通じて院生・若手研究者の育成にも力を入れていくという方針で、現在活動しております。今回の全国大会では、関東研究部会のセッションとして、「院生・若手研究者向けワークショップ」を開催したいと思います。

近年の研究環境の劇的な変化により、海外カンファレンスへの論文の投稿やプレゼンテーションをおこなうことが求められています。しかしながら、いきなり海外カンファレンスで報告しろと言われても、何をどうしたらよいのか分からないのが普通だと思います。そこで今回の ESW2014 のテーマは、「海外カンファレンスで報告をするために」と設定しました。

Program Description

まず関東研究部会の副会長であり、海外カンファレンスにおけるセッションチェアなどの経験豊富な福多裕志氏（法政大学）に、「English for Conference Participation and Presentation」（使用言語は英語、質疑応答は日本語可）と題し、ご自身の経験などを踏まえてどのような点に注意したらよいか、英語で語っていただきます。また海外カンファレンスで報告するためには、基本的に論文の査読プロセスを経なければなりません。査読プロセスについて、経験豊富な浅野信博氏（大阪市立大学）をゲストに招き、「報告論文の査読について」と題し、カンファレンス等での査読プロセスに対する注意点について語っていただきます。最後に、関東研究部会長でもあり国際カンファレンスの開催経験を持つ坂上学氏（法政大学）より、「カンファレンス主催者側の視点」と題し、主催者側の立場から査読以外のさまざまな点について、どのようなことを配慮しなければならないのかを語っていただきます。

それぞれの発表の合間に、質疑応答やリサーチ・プロポーザルへのアドバイスの時間を設けたいと思います。

Venue:

第31回年次大会が開催される流通科学大学にて、2014年5月18日（日）13:30～16:30に、講義棟6（全国大会が開催される場所と同じ建物）で開催します。

Application

現在、博士課程に在籍中の院生や教員となって年数の浅い若手研究者を対象とした内容ですが、どなたでも参加できます。当日は、院生・若手研究者から、ボランティアでリサーチ・プロポーザルをしてもらいたいと考えています。今行っている研究のアイデアについて、テーマや方法論の妥当性、論文の構成、査読通過の可能性など、その場で色々アドバイスを受けたい方は、A4で1～2枚程度にまとめたりサーチ・プロポーザルを持参してください。

以下の URL にある Application Form を使って Web 上で申し込んで下さい。当日参加も可能ですが、資料の準備の関係で、なるべく事前に申し込んでいただくと助かります。

<http://mslab.i.hosei.ac.jp/esw2014/>

また、年齢や経験に関係なく興味のある方々、自分の体験などを若手研究者に伝えたいと思っているベテランの方々の参加も大歓迎です。

Inquiries

不明な点がありましたら、esw2014@mslab.i.hosei.ac.jp まで問い合わせ下さい。